

一学期 4月9日～7月23日

教材名	目安	進め方
あさ	楽しく音読	教師の後に音読 絵を見て何をしているか、何があるか生徒に見つけさせる
なんて いおうかな	相手や場面に応じて、適切な言葉遣いで話す	絵を見て、何をして、どんな話をしているか場面なのかを出し合う
どんな おはなしかな	本の読み聞かせを楽しく聞く事	教師の本の読み聞かせ
どうぞ よろしく	名刺を使い自己紹介	名刺に名前を書き、友達に紹介する 書く時の正しい姿勢の指導
こえのおおきさ どうするの	場面の合わせた声の大きさを話す	絵を見て、四つの場面ごとにどんな声の大きさではなしているかを考え、実際に声を出す
うたにあわせて あいうえお	口の開け方、声の大きさ、リズム、テンポを工夫して繰り返し読む 「あいうえお」の文字を書けるようにする	手拍子をつけて教師の後に繰り返し音読 書き順に気をつけて書く
ことばを つくろう	既習の平仮名を使って単語を書く	「あ」「い」「う」「え」「お」で始まる言葉を見つけノートに書く
えを みて はなそう	絵を見ながら型に合わせて尋ねたり、質問に答えたりする	二人組になり、「何が」「何処にいますか。」の質問、「～がいます。」「～あります。」の答え方
かきと かぎ	平仮名で濁音を含む単語を読んだり書いたりする	(唱え歌) 濁音の読みと書きの練習 濁音を抜かした文に濁音をいれる
あさの おひさま	楽しくはっきりした声でスラスラと読めるようにする。	はっきりと声に出して音読 詩を視写の上、音読
はなの みち	場面の様子について想像を広げて読む	押絵と本文の対応関係を確認し、話の内容を確かめる 自分で会話を考えさせる 初めての句読点の説明 役を決めて初めての音読会(二時間目) 好きな場面の発表
ぶんを つくろう	主語と述語の関係に注意して「～が～。」という文型の文を書く	例文を読み、「～が～。」の文型に気づかせ、教科書の口に入る述語を考え、「～が～。」の文型でノートにかく、また身の回りからの文を探しノートに書く 文の終わりには、句点を打つことを確かめる

一学期 4月9日～7月23日

教材名	目安	進め方
ねこと ねっこ	促音や半濁音のある言葉を見つけて、正しく書く	唱え歌を楽しく読み、また手拍子を使い音読し、促音に気付かせる 促音の位置の書き方 「っ」を抜いたプリントに書きこむ
わけを はなそう	気持ちを話した後に、その訳を話すこと	押絵を見ながら、「私は、～。」「どうしてかという～からです。」の文型で答える
おばさんと おばあさん	長音のある言葉を集め、読み書き出来るとともに、助詞「を」を正しく使う	唱え歌の音読 長音を使って「～を～。」の文を書く
くちばし	説明の順序や内容を考えながら読む 助詞「は」を正しく用いながら、文を書く	絵や本文を対応させながら読み、「問い」と「答え」を確かめる 自分で選んだ鳥や動物について、「問い」と「答え」の文を書き説明
おもちゃと おもちゃ	拗音のある言葉を集め、読み書きできるとともに助詞「へ」を文の中で正しく使うこと	唱え歌をリズムに気をつけて読み、「おもちゃ」と「おもちゃ」の言葉の違いに気付かせる 拗音のある言葉を読み、書く練習 「～へ～」の文を書く
おもいだして はなそう	自分の体験を思い出し、順序良く話す事	「いつ・どこで・誰と・何を・どうした」という観点から、最近の出来事を詳しく思い出し、話す
あいうえおで あそぼう	はっきりした発音や口形に気をつけて声を出す事	節をつけて歌うように読み、調子の良いリズムを楽しむ 五十音を縦や横や斜めに読む
おおきく なった	書こうとする題材に必要な事柄を、対象を観察して集めること 句読点を使ってつながりのある文を書くこと 観察した事を、的確な観点で表す事	作例を見て書き方を確かめ、どんな観点を観察したいか出し合う 観察記録を書き、発表する
おむしび ころりん	内容、文章のリズムに注意しながら声に出して読む事 役割を決めて楽しく音読	教師の範読を聞き、話の内容や押絵のどんな様子かを説明 役割を決めて音読会（二時間目） カギカッコの書き方

一学期 4月9日～7月23日

教材名	目安	進め方
たからものを おしえよう	自分の大切なものを順序立てて友達に話す 相手が伝えたい事を聞く	教師の宝物の模範発表の上、発表し、聞き手は必ず質問をする
はをへを つかおう	語と語をつなぐ助詞「は・を・へ」を正しく使 って文を書く	唱え歌をリズムに気をつけて音読 カードを使い、文作り 唱え歌を視写する
すきな こと なあに	好きな事とその理由を文と文との続き方に注意し て二文で書く事 主語述語の関係や句読点に気を つけて書く事	好きな事と、その絵を描き、これを文章にして発表
おおきな かぶ	繰り返しの言葉のリズムを生かして音読	二時間目に音読劇をしました（夏休み明け）
ほんは ともだち	自分の読みたい本を選んで読む	図書館では、本の置かれ方や借り方を知る 夏休み中に好きな本を選び、一番面白かった所の発表
こんな ことを したよ	知らせたい体験を決めて必要な事柄を思い出し、 語と語、文と文のつながりに気をつけて書く	いつもの絵日記（毎回、宿題でだしている） 例文を視写し、いつ・誰と・何処で・何をした・思った事を確認

二学期 9月10日～12月17日

教材名	目安	進め方
いちねんせいの うた	語のまとまりや言葉の響きなどを考えながら音読 する	教師の後に繰り返し音読 また動作も含めて音読 青い（空のイメージ）紙に視写する
なつやすみの ことを はな そう	経験の中から皆に話したい事を選び、話の順序を 考えながら、丁寧な言葉を使って話す事 話の大事な所を落とさないように聞く事	教科書の絵を見て夏休みの経験を伝えあう具体的なイメージをもち、題材 を決める 話す事を決め、敬語を使い発表し合う また、質問や感想も伝 える

二学期 9月 10日～12月17日

教材名	目安	進め方
ひらがな あつまれ	平仮名を使って条件に合う言葉を書くこと	表を見て、縦、横、斜めに隠れている言葉を見つける
ゆうやけ	登場人物の行動を中心に想像を広げながら読む事 文章の内容と自分の経験を結びつけ、自分の思いや考えを発表する	教師の範読の上、感想を発表 題名・作者・登場人物を確認し、体を動かしながら会話を音読 好きな場面と自分に似ているなどと思う事を発表
かたかなを みつけよう	片仮名の語を正しく読み、片仮名で書く言葉を見つけて書く事	唱え歌を音読し、濁音半濁音促音拗音の書く位置に気を付け視写する 洋服から片仮名を使う物を見つけさせる
うみの かくれんぼ	事柄の順序を考えながら読む事 漢字の読み方に注意して文章を読む事	教師の範読し、何が・何処に・体の特徴・隠れ方を確認させる 内容を更に確認させる為プリントを用意し、それぞれの生き物をまとめる 図鑑などを使い、他の生き物について調べ、発表する
かずと かんじ	一から十までの漢字を読んだり書いたりする事 数を表す漢字やいろいろな数え方ができる	数え唄をリズムカルに楽しく手拍子を使い読む 数を表す漢字をノートに書いて練習し、幾つかの読み方がある事を確かめる
くじらぐも	場面の様子を想像し、その様子が表れるように声に出して読む事 登場人物の行動を中心に、好きな所を見つけながら読む事 かぎ（「」）の使い方を理解する事	教師の範読により話の内容を確認 かぎ「」の説明をし、それぞれ誰の言葉かを教材に記入する 各ページの押絵を見て、教材にない言葉を考え、記入する 登場人物になりきって役割を決めて音読
しらせたいな みせたいな	書こうとする題材に必要な事柄を観察し、語と語や文と文の続き方に気をつけて書く事 書いた文を読み返す習慣をつけ、間違いを直す事	知らせたい事を決め、絵と短い言葉を書き、それを順序良く文章にする 書いた文書を自分で読みかえし、間違いを直す（特に句読点） 訂正後、文章を保護者に読んでもらい感想を書いてもらう

二学期 9月 10日～12月17日

教材名	目安	進め方
まちがいを なおそう	書いた文章を読み返したり、間違いを正しくなおしたりすること	教科書の例題の間違いを見つけ、正しく字をかく 毎回、日記の宿題も読みかえし、間違えがあれば訂正させる
かん字の はなし	漢字を読んだり書いたりし、漢字を使った文の続き方に注意をしてかく	教科書や漢字カードより、漢字の成り立ちを学ぶ 書き順に気をつけて練習をする 例文にある絵を漢字にしてノートに視写する 習った漢字を使い、短い文を作り発表する
ことばを 見つけよう	文の中に隠れた言葉を補いながら言葉遊びの文を読むこと 文字を組み合わせると意味のある言葉になる事にくづかせる	教科書の例題の文の意味を理解し、□に入る言葉を考える 「いる」と「ある」の使い方の違いを理解させる
じどう車 くらべ	知識を得るために、事柄の順序を考えながら内容の大体を読み、本文より大事な言葉や文を書き抜くこと 事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、文と文の続き方に注意しながら、つながりのある文章を書く事 カタカナや句読点の使い方の理解	三つの事柄の「しごと」と「つくり」があり、「そのために」でつながっている事を説明の上、表にしたプリントで書きこみながら理解させる また、同時に板書きも使い、何度か「しごと」「つくり」は何か、「そのために」どんな事があるか、教科書より文を抜き出す 好きな自動車を選び、「しごと」「つくり」「そのために」を使い文章として絵つきで書く
かたかなを かこう	片仮名を正しく読んだり、書く語を使った文を書いたりする	それぞれの言葉は何か確認し、片仮名尾使って文を作る
まの いい りょうし	読み聞かせを聞きながら昔話を楽しみ感想を伝える	教科書の押絵を見ながら教師の読み聞かせ 解らない言葉の説明
むかしばなしが いっぱい	日本や外国の昔話を読んだり、読み聞かせをする	(二時間目にお願ひしました) 昔話の読み聞かせや好きな昔話の絵を描いてもらいました

二学期 9月10日～12月17日

教材名	目安	進め方
ともだちに きいてみよう	話す順序を考えながら丁寧な言葉で話したり、大事な事を落とさずに聞いたりする事 友達を取材して、紹介するために必要な事柄を集める事	教師と TA のインタビューの模範を見せ、二人組になり友達と楽しいと思う事を話し合う（表にまとめた質問のプリントを使う） 友達に尋ねた事を発表
日づけと よう日	日づけや曜日の歌を楽しく唱えながら語句の意味やまともに気づく事 日づけや曜日を書く事	唱え歌の音読と、視写 曜日を集中しておぼえさせる
本を えらんで よもう	読みたい本を選び、好きな所を見つけながら読む	図書館での本の選び方の説明
ずうっと ずっと 大すきだよ	本を楽しんだり、想像を広げたりして読む事	教師の読み聞かせ、生徒の音読 「おはなしカード」に、感想を記入

三学期 1月 7日～3月18日

教材名	目安	進め方
てんとうむし	語のまとまりごとに意味を考えながら音読する事	「てんとうむし」の気持ちを想像しながら詩を音読 促音の発音を繰り返し音読 詩を視写し、余白に絵を書く
ものの 名まえ	客と店の人になり、売り買いのやり取りをし、尋ねたり応答したりする事 意味による語句のまとまりや上位後・下位語の関係に気づく	物の名前に上位後と下位語があることの理解 お店屋さんごっこでの会話の練習 二時間目に看板や売る物の絵を描き、お店屋さんごっこをする

三学期 1月 7日～3月18日

教材名	目安	進め方
かたかなの かたち	平仮名と片仮名の形が似た字に注意して書く事	一字ずつ形に注意してノートに視写する 50音表から、似ている字を見つけ出す
てがみで しらせよう	経験したことから書く題材を決め、文と文の続きに注意して書く事 句読点の打ち方や主語と述語に注意して書く事	手紙を書いたり、もらったりした経験を話し合う 教材文を読み、嬉しかった事や楽しかった事を手紙に知らせようという事を確認し、誰に書くかを決め、ノートに下書きをし、実際に日本へお手紙を出し、返事をもらう 後日、返事がきたら発表する
たぬきの 糸車	話を楽しみながら想像を広げて読む	教師の読み聞かせ 押絵から、登場人物が何をしてどう思ったかを話し合う 好きな場面をみつけ、感想をノートに書き発表
ことばを たのしもう	言葉遊びを楽しんだり、早口言葉に挑戦	楽しく音読 好きな早口言葉をえらび発表（二時間目）
これは、なんでしょう	友達と協力して合意形成を図り問題と答えを考える 解らない事を尋ねたりそれに答えたりする事 身近な物の中から問題にする物を決め必要な事柄を集める	教師のモデルをみせ、二人一組になり、問題を作りゲームの発表
どうぶつの 赤ちゃん	時間的な順序や事柄の順序を考えながら、内容の大体を読み、文章から大事な言葉や文を書き抜く事 主語と述語の関係に注意して敬体で書かれた説明を理解する	教師の後に、繰り返し音読 それぞれの違いの確認のため読みとりの観点を表にして、埋め込んでもらう
にている かん字	似ている漢字の形や筆順に注意して正しく読んだり書いたりする	例題の文（似ている漢字含む）をノートに書き、違う部分に印をつける

三学期 1月7日～3月18日

教材名	目安	進め方
だってだつの おばあさん	好きな所を見つけながら、楽しく読む事そしてその文を書き抜く事	登場人物の行動や性格と持ち物が関連している事を板書きにして確認 教師の範読しながら各ページずつ押絵を見ながら話の内容の説明 教科書ぴったりテストの問題を皆で解く（内容の確認） 主役の登場人物がした事をプリントにまとめる 好きな所をみつけて書き出し、その訳も書く
いいこと いっぱい 一年生	経験したことから書く題材を決めて順序を考えながら文と文の続き方に注意して書く 書いた文を読みかえして間違いなどを正す 句読点やカギの使い方を理解して文の中で正しく使う	教科書をみながら今まで習った単元や特例会の事を思い出しながら話す 教科書の例題から句読点やカギの使い方の説明をしノートに視写 思い出をまずカードに書きこみ、それを見ながら文章にする

気づいた事や反省

- ・今回は、8人で女子の方が多かったのでやりやすかったですが、始まり前から話は聞いてはいましたが、50音がほとんど読めないという事から新学期が始まりました。少し甘く考えてしまい、初期のころにもう少し宿題で50音の書きとりを増やせばよかったと後悔しました。このため、やはり個人の音読もかなりゆっくりになり授業がなかなか進めない部分もありました。
- ・二学期になってからですが、もう少しゆっくりにやりたい気もありました。保護者の方に確認しましたが、一年生の教科書は全て終わらせたいという希望があり、昨年よりも内容を少し削ることもありました。
- ・発表の時間もあまり取れなかった気がします。次回も7人で多いですが、折角会話が出来る状態ですので次回はもう少し力をいれたいと思っています。
- ・残念ながら授業では漢字に力を入れる事ができないので、保護者の力が必要となります。
- ・生徒たちは、いつも元気で一生懸命頑張ってくれていました。とてもありがたいです。

以上